

化学専攻における教務上の注意事項について

令和2年4月

教務上の注意

1. 大学院の教務関係の届出や規則

「大学院履修案内」(A4版白表紙の冊子)の大学院の教務関係の届出や規定、各種手続きについてよく読むこと。(日本語:諸手続(P1)・履修に関する注意(P2-7)・休学の手続き(P8)・海外渡航の手続き(P9-10)、英語P50~P69)休学や復学等届出様式は理学系研究科WEBから必要に応じてダウンロードして使用する。

大学院理学系研究科HP:

- 大学院履修案内 https://apps.adm.s.u-tokyo.ac.jp/WEB_info/p/pub/5712/大学院履修案内.pdf
各種届出用紙 <http://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/current/notification-forms-grad.html> (日本語)
<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/en/current/notification-forms-grad.html> (英語)

2. 教務関係の連絡事項

随時、以下の方法により周知するので、頻繁に確認すること。

- ・大学院生用掲示板(化学本館1階の玄関ホール)
- ・化学専攻HP(<http://www.chem.s.u-tokyo.ac.jp/>)
- ・理学系研究科HP(<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/current/graduate.html>)
- ・化学事務室から大学アカウントのメールを通じて情報を発信

3. 連絡先登録等

- ・UTASによる学生連絡先登録・更新を行う。
- ・新入生は、ガイダンス資料と一緒に配付した「大学院用連絡先登録用紙」を記入の上、化学事務室(化学本館1101号室)に提出する。(提出締切:**5月15日(金)正午**)※化学事務室閉室期間中のみメール添付での提出可
- ・連絡先に変更が生じた場合には、速やかに化学事務室まで申し出ること。

4. 令和2年度学事日程

「大学院履修案内」表紙裏面「2020年度理学系研究科授業日程」と「2020年度理学系研究科学事(各種手続等)日程表」(英語P50~52、P68~69)を確認する。

5. 博士課程学生への支援について

昨年度まで実施されていた「博士課程研究遂行協力制度」は令和2年度から実施されないが、理学系研究科で支援制度を実施予定のため、化学事務室からの通知を確認すること。

6. 履修登録(UTAS)・シラバス 履修登録手続要確認

★履修登録については、「大学院履修案内」(A4版白表紙の冊子)(日本語P2~P7、英語P54~P61)、「履修上の注意」P38-39、「大学院便覧」理-12を確認する。

①個人に配布されるパスワードを使用してWEBのシステムUTASで履修登録をする。

UTAS: <https://ut-gakumu.adm.u-tokyo.ac.jp/websys/campus+>

②「履修科目控」を指導教員に確認してもらい、下記URLに教員が確認したことがわかるメールのPRTSCと一緒にアップロードする。提出締切:**5月11日(月)正午**

<https://webfs.adm.u-tokyo.ac.jp/public/o1NYgARJQcKAVv4BnIZxkqmb91hBIlobeXoszkHx-C7x>

③後日、右下の余白部分に指導教員の署名と捺印をもらい「履修科目控」原本を化学事務室に提出する。

※パスワードの管理には十分注意すること。

※履修登録がない場合にも『履修登録なし』をクリックする。（「履修科目控」は提出不要）

※履修登録手続期間以外は、履修登録や登録内容の修正は一切できないので十分注意する。

※住所・連絡先等を変更した場合は、UTAS 上で個人情報を修正のうえ、修正内容を化学事務室に申し出ること。

※UTAS では日本語と英語のシラバスを両方確認できる。

履修上の注意事項

1. 化学専攻の修了に必要な単位数

- ・修士課程においては、講義 12 単位以上及び「化学特別実験第 1」、「演習第 1」20 単位、計 32 単位以上を修得しなければならない。講義 12 単位以上のうち 6 単位以上は、化学専攻開講科目から修得しなければならない。
- ・博士課程においては、「化学特別実験第 2」、「演習第 2」計 20 単位を修得しなければならない。
- ・(新入生) 必修科目は入学時の一番最初の履修登録期間中しか登録できず、それ以降は卒業まで履修登録されないので、修士 1 年、博士 1 年必ず入学した時に下記の必修科目を履修登録すること。(入進学時に一度登録すれば毎年履修登録し直す必要はない。) 9 月入学者は、システム上の理由により自動的に登録される。

修士 1 年：「化学特別実験第一 35606-1001」12 単位、「演習第一 35606-1003」8 単位

博士 1 年：「化学特別実験第二 35606-1002」8 単位、「演習第二 35606-1004」12 単位

- ・理学系他専攻では修士課程修了に必要な単位数は 30 単位であるが、化学専攻は 32 単位必要なので十分注意すること。

2. 他専攻、他研究科、学部講義の履修

- ・他専攻、他研究科、学部の講義も修了に必要な単位として認められる。
- ・学部講義は、化学専攻では修士・博士課程を通じて教職科目を除く 4 単位までを修了に必要な単位として認定できる。(5 単位以上履修することは可能だが、超過分は修了に必要な単位としては認められない。理学系他専攻では 6 単位までを修了に必要な単位として認めているが、化学専攻では 4 単位までなので注意すること。)
- ・化学専攻以外の大学院講義、学部講義のほとんどは、日本語で開講されているので、注意すること。

3. 研究倫理

- ・「化学特別実験第 1」「演習第 1」「化学特別実験第 2」「演習第 2」は理学部科目「研究倫理」の修得を前提として単位が認められるため、それまでの課程で未履修の場合には必ず履修しなければならない。ただし、「研究倫理」は修士課程修了に要する講義 12 単位には含まれない。
- ・学部と大学院通じて 1 回だけ修得すればよいので、昨年度以前に「研究倫理」修得済みの場合は改めて履修する必要はない。今年度、東京大学理学部以外から入学した者は、理学部科目「研究倫理 (0530801)」を履修登録すること。開講日程の詳細は決まり次第周知する。

4. 科学英語演習 I / II (化学)

- ・修士 1 年生は特別な事情がない限り、履修すること。
- ・I を S セメスターに、II を A セメスターにそれぞれ開講しており、通年で履修することを推奨する。
- ・通常 4 月から始まるため、9 月入学者については、次年度 4 月から始まる講義を履修すること。
- ・開講前にクラス分けテスト (Placement Test) を行い、レベルに応じたクラス毎に開講する。

- ・修了に必要な単位に含まれないので、注意すること。(←「大学院履修案内」P13)

5. 基礎科目の履修

毎年Sセメスターに開講している、「物理化学基礎Ⅰ・Ⅱ」、「有機化学基礎Ⅰ・Ⅱ」、「無機分析化学基礎Ⅰ・Ⅱ」の基礎科目は、なるべく履修すること。

6. 先端レーザー科学教育研究コンソーシアム (CORALプログラム)

- ・「先端光科学講義Ⅰ・Ⅱ」「先端光科学実験実習Ⅰ・Ⅱ」を開講している。(ⅠはSセメスター、ⅡはAセメスターに開講)
- ・化学専攻の修了に必要な単位として認定される。
- ・履修を希望する場合には、CORALのwebサイト (<http://www.cuils.org/coral-ut/index.html>)を確認すること。履修希望者は直接CORALのWEBサイトから問い合わせ、**5月11日(月)**にオンラインで開催予定のガイダンスに必ず出席すること。
- ・平成27年4月以降の入学者(化学専攻学生のみ)については、以下のとおり気を付けること。
 - ・「先端光科学講義Ⅰ・Ⅱ」(各2単位)を単独で履修できず、同一年度に「先端光科学実験実習Ⅰ・Ⅱ」を同時に履修する場合のみ履修できる。「先端光科学実験実習Ⅰ・Ⅱ」(1単位)を単独で履修はできる。
- 注)・「先端光科学講義Ⅰ」は、「先端光科学実験実習Ⅰ」を同時に履修した場合にのみ合計3単位として認める。
 - ・「先端光科学講義Ⅱ」は、「先端光科学実験実習Ⅱ」を同時に履修した場合にのみ合計3単位として認める。

7. 理工連携科目

「大学院便覧」理-22、23に理工連携講義と記載している科目は工学系研究科との連携講義。理工連携科目のうち工学系研究科で開講している科目(科目番号35606-0088~35606-0098)は修了に必要な単位として認めるが、化学専攻開講科目6単位には含まれない。

8. 化学専攻開講科目の日本語開講

化学専攻開講科目は基本的に英語で開講するが、以下の科目は日本語で開講する。

- ・理工連携科目のうち、工学系開講科目(大学院履修案内P37~38の時間割表で**印の科目)
- ・先端科学技術特論Ⅰ/Ⅱ
- ・先端光科学講義Ⅰ/Ⅱ、先端光科学実験実習Ⅰ/Ⅱ

9. 集中講義

日程が決まり次第掲示、HPで周知する。履修登録期間外に履修登録をする場合は、集中講義前日までに学務課大学院担当(理学部1号館東棟275室)で申込む。

10. 開講日

化学専攻開講科目の開講日、理工連携科目の開講日は専攻HPを確認する。

日程が未定の科目については決定次第、周知する。

化学専攻事務室連絡先
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学大学院理学系研究科
化学専攻事務室(化学本館1階1101号室)

Chemistry Office Address
7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo 113-0033
Department Chemistry, Graduate School of
Science, The University of Tokyo
(Rm1101 Chemistry Main Building)

E-mail : kagaku@chem.s.u-tokyo.ac.jp Tel : 03-5841-4321 Fax : 03-5841-8324